

1. シンポジウム

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ & 講師
平成15年 9月2日 (火) 参加者 186名	『免疫制御と免疫疾患研究の最先端』 —演題— ・自然免疫から見た免疫制御 ・樹状細胞による免疫制御 ・制御性T細胞による免疫制御 ・TNF受容体結合因子 (TRAF) ファミリー によるシグナル伝達と免疫制御 ・インターロイキン6シグナル異常と自己免疫 疾患、特に関節リウマチについて ・WT1ペプチドを用いた癌の免疫療法	東京大学医科学研究所 教授 高津 聖志 大阪大学大学院生命機能研究科・ 医学系研究科 教授 平野 俊夫 —講師— 大阪大学微生物病研究所 教授 審良 静男 慶応義塾大学医学部 教授 小安 重夫 京都大学再生医科学研究所 教授 坂口 志文 東京大学医科学研究所 教授 井上純一郎 大阪大学大学院生命機能研究科・ 医学系研究科 教授 平野 俊夫 大阪大学大学院医学系研究科 教授 杉山 治夫

2. セミナー

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ & 講師
平成15年 6月6日 (金) 参加者 126名	『感覚受容の分子生物学』 —演題— ・感覚受容の分子メカニズム ・網膜における新しい光受容機構の発見 ・味覚と嗅覚受容体研究の最前線 ・痛み受容・温度受容の分子機構 ・耳の中にアンプが存在する ・脳の匂い分子受容体地図	大阪大学大学院 医学系研究科 情報伝達医学専攻 教授 福田 淳 東京大学大学院 理学系研究科 生物化学専攻 教授 坂野 仁 —講師— 東京大学大学院 理学系研究科 生物化学専攻 教授 坂野 仁 岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所 博士研究員 高雄 元晴 Duke University Medical Center Assistant Professor 松波 宏明 三重大学医学部 生理学第一講座 教授 富永 真琴 東北大学大学院工学研究科バイオ ロボティクス専攻 教授 和田 仁 東京大学大学院医学系研究科細胞 分子生理学分野 教授 森 憲作
11月11日 (火) 参加者 87名	『新しく登場した生物学とそれを支える手法』 —演題— ・細胞融合による体細胞遺伝情報のリプログラミング ・核移植クローン動物はなぜ生まれにくいのか ・胚性幹細胞の未分化性維持機構の解析 ・細胞の運命を決める小さなRNA ・マウストランスポゾンシステムを用いた網羅 的遺伝子機能解析 ・蛋白質の機能予測のバイオインフォマティクス	大阪大学大学院医学系研究科 教授 竹田 潤二 金沢大学大学院医学系研究科 教授 横田 崇 —講師— 京都大学再生医科学研究所 発生分化研究分野 多田 高 理化学研究所筑波研究所 バイオリソースセンター(RIKEN BRC) 遺伝工学基盤技術室 室長 小倉 淳郎 金沢大学大学院医学研究科 再生分子医学 教授 横田 崇 東京大学工学系研究科 教授 産総研 ジーンファンクション研究 センター長 多比良和誠 大阪大学先端科学技術共同研究センター 助手 堀江 恭二 京都大学化学研究所 客員教授 藤 博幸

<p>平成16年 1月16日 (金) 参加者 159名</p>	<p>ブレインサイエンスシリーズ 第16回 『アルツハイマー病研究の最前線と治療 への挑戦』</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aβ代謝とアルツハイマー病 ・Aβ凝集開始の分子基盤 ・γセクレターゼの形成と機能 ・小胞体ストレスとアルツハイマー病 ・ミクログリアとアルツハイマー病 ・脳の老化とアルツハイマー病発症機構 —タウ研究からのアプローチ— 	<p>大阪大学大学院医学系研究科 教授 遠山 正彌 奈良先端科学技術大学院大学 助教授 今泉 和則</p> <p>—講師—</p> <p>理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム チームリーダー 西道 隆臣</p> <p>国立長寿医療研究センター 痴呆疾患研究部 研究部長 柳澤 勝彦</p> <p>東京大学大学院薬学系研究科 臨床薬学教室 教授 岩坪 威</p> <p>奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 助教授 今泉 和則</p> <p>京都大学大学院医学研究科 臨床神経学 助教授 下濱 俊</p> <p>理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム チームリーダー 高島 明彦</p>
<p>2月27日 (金) 参加者 230名</p>	<p>『糖鎖の機能解析から糖鎖創薬への掛け橋』</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖鎖構造と機能の多様性：糖鎖創薬の基礎 ・エイズウイルス糖鎖生物学 —何故かくも多くの糖鎖が？— ・ヘルペスウイルス感染における糖鎖の役割 ・IgGの糖鎖改変と抗体創薬 ・糖鎖認識To11様受容体：感染・がん免疫療法の 開発を旨として ・肝炎の糖鎖治療戦略 ・ファブリー病の糖鎖治療戦略—酵母由来ヒト 型糖鎖含有リソソーム酵素の酵素補充療法を中心 に— ・Microbial glycobiology and carbohydrate production 	<p>大阪大学大学院医学系研究科 教授 谷口 直之 理化学研究所フロンティア研究システム グループリーダー 鈴木 明身</p> <p>—講師—</p> <p>ワシントン大学 教授、 ノーステック財団 参加 箱守仙一郎 富山県衛生研究所 所長 永井 美之</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 助教授・教授 森 康子・山西 弘一 協和発酵工業株式会社東京研究所 主任研究員 佐藤 光男</p> <p>大阪府立成人病センター研究所 所長 瀬谷 司</p> <p>タカラバイオ株式会社 主任研究員 小山 信人</p> <p>産業技術総合研究所糖鎖工学研究センター センター長 地神 芳文</p> <p>The Ohio State University, Professor Peng George Wang</p>

技術講習会

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ&協賛企業&講師
<p>第32回 平成15年 6月26日 (木) 参加者 42名</p>	<p>細胞内分子イメージング技術(II) 『蛍光顕微鏡による生細胞FRET測定』</p> <p>—演題—</p> <p>技術解析</p> <ol style="list-style-type: none"> ①FRETの原理 ②FRETに適する蛍光色素 ③FRETのための蛍光顕微鏡 実習 <ol style="list-style-type: none"> ① Laser scanning共焦点蛍光顕微鏡を用いた FRETの測定 ② Nipkow-disk共焦点蛍光顕微鏡を用いたFRET の測定 ③ 画像データの解析 	<p>通信総合研究所 生物情報グループ グループリーダー 平岡 泰</p> <p>—協賛企業—</p> <p>カール ツァイス株式会社 横河電機株式会社 株式会社日本ローパー</p> <p>—講師—</p> <p>通信総合研究所 生物情報グループ グループリーダー 平岡 泰</p> <p>通信総合研究所 生物情報グループ 主任研究員 原口 徳子</p> <p>理化学研究所・脳センター、 科学技術振興事業団・さきがけ</p> <p>永井 健治</p>

<p>第33回 7月8日 (火) 参加者 28名</p>	<p>『ネットワーク知識を使う・見つけ出すためのDNAマイクロアレイデータ解析』 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子発現制御ネットワーク同定のためのマイクロアレイ解析 ・データマイニング手法を駆使したマイクロアレイ解析 ・知識情報（パスウェー情報など）を活用したマイクロアレイ解析 	<p>理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター チームリーダー 豊田 哲郎 —講師— 福岡国際大学 国際コミュニケーション学部 講師 牧 幸浩 奈良先端科学技術大学院大学 助教授 金谷 重彦 理化学研究所ゲノム科学総合研究センター チームリーダー 豊田 哲郎</p>
<p>第34回 平成16年 2月20日 (金) 参加者 35名</p>	<p>『RNAiの技術応用』 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線虫における RNAi の技術応用 (技術解説と実習) ・植物における RNAi の応用技術 (技術解説) ・哺乳類培養細胞における RNAi の技術応用 (技術解説と実習) 	<p>京都大学医学研究科先端領域融合医学研究機構 助教授 田原 浩昭 —協賛企業— 和光純薬工業 (株) (株) ニッポンジーン (株) iGENE エア・ブラウン(株) —講師— 京都大学医学研究科先端領域融合医学研究機構 助教授 田原 浩昭 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 研究員 三木 大介 東京大学大学院工学系研究科 助手 宮岸 真</p>

4. 新適塾

(1) 千里神経懇話会

開催日	テーマ & 演題	オーガナイザー& 講師
<p>第57回 平成15年 4月14日 (月) 参加者 53名</p>	<p>「ペインリサーチにおける新知見 Part5」 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疼痛メカニズムに関する新知見 ・末梢炎症および軸索切断後のDRGにおけるERKの活性化によるBDNF発現調節 ・侵害受容神経のタイプ分類とRho-Rhoキナーゼを介する神経因性疼痛 	<p>兵庫医科大学 第2解剖 野口 光一 —講師— 兵庫医科大学 第2解剖 野口 光一 兵庫医科大学 第2解剖、大阪大学整形外科 小畑 浩一 長崎大学大学院 生命薬科学専攻 分子薬理学 植田 弘師</p>
<p>第58回 5月22日 (木) 参加者 65名</p>	<p>「アルツハイマー病診断に応用可能な分子マーカーの新知見」 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・βアミロイドとは何か？段階的膜内蛋白分解を伴うシグナル伝達の結果放出される小さなペプチド群について ・PS2Vを用いた孤発性アルツハイマー病診断法の開発 ・タウ研究から観たアルツハイマー病発症機序 	<p>大阪大学大学院医学系研究科 片山 泰一 奈良先端科学技術大学院大学 今泉 和則 —講師— 大阪大学大学院 医学系研究科 神経機能医学講座・精神医学 大河内正康 大阪大学大学院 医学系研究科 ポストゲノム疾患解析学講座 安田 裕一 理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム チームリーダー 高島 明彦</p>

<p>第59回 6月30日 (月) 参加者 58名</p>	<p>「海馬のシナプス構成接着分子と神経機能」 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ニューロブシンによる海馬L1プロテオリシシステム 海馬のシナプス構成接着分子L1の光顕および電顕観察 脳におけるIgLN接着因子の発現と局在 神経系特異的細胞認識分子群コンタクチンサブグループと神経機能 	<p>奈良先端科学技術大学院大学 塩坂 貞夫 —講師— 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 田村 英紀 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 中村 雪子 京都工芸繊維大学 応用生物学科 宮田 清司 長岡技術科学大学 渡邊 和忠</p>
<p>第60回 9月12日 (金) 参加者 37名</p>	<p>「生殖・発生から神経系再生にいたる多彩な生命現象を引き起こすDNAのメチル化を勉強しよう！」 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> De novo型DNAメチルトランスフェラーゼの発現、精製と酵素的な性質 生殖細胞におけるDe novoメチル化の役割 DNAメチル化酵素による遺伝子発現制御とマウス損傷運動ニューロン細胞死 	<p>大阪大学大学院医学系研究科 山下 俊英 大阪市立大学大学院医学研究科 木山 博資 —講師— 大阪大学蛋白質研究所 蛋白質生理機能 研究部門 田嶋 正二 国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門 佐々木裕之 大阪市立大学大学院 医学研究科 瀬尾寿美子</p>
<p>第61回 11月17日 (月) 参加者 48名</p>	<p>「幹細胞バイオロジー」 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> 損傷脳における組織幹細胞の動態 ES由来神経幹細胞を用いた移植実験 マウスES細胞の未分化状態を維持する分子機構 	<p>奈良県立医科大学第二解剖学講座 和中 明生 —講師— 奈良県立医科大学第二解剖学講座 辰巳 晃子 奈良県立医科大学寄生虫学講座 吉川 正英 理化学研究所 発生・再生科学総合研究 センター多能性幹細胞研究チーム 丹羽 仁史</p>
<p>第62回 平成16年 1月13日 (火) 参加者 50名</p>	<p>「“侵害受容”をめぐる最近のトピックス」 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> 侵害受容ニューロンの発生におけるオンコスタチンMの役割 プロスタグランジンとカプサイシン受容体の機能関連 神経因性疼痛発症と脊髄内ミクログリア：ATP受容体の関与 	<p>和歌山県立医科大学解剖学第二講座 仙波 恵美子 —講師— 和歌山県立医科大学 解剖学第二講座 田村 志宣、森川 吉博 三重大学医学部ゲノム細胞医科学大講座 分子細胞生理学分野（生理学第一） 富永 真琴 国立医薬品食品衛生研究所 代謝生化学部 井上 和秀</p>
<p>第63回 3月19日 (金) 参加者 51名</p>	<p>「ニューロパチックペイン、特に帯状疱疹後神経痛の臨床と基礎」 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ニューロパチックペイン：概念と診療の実際 帯状疱疹後神経痛の治療における現状 帯状疱疹後神経痛の発生機序—マウスモデルを用いて— 	<p>兵庫医科大学 解剖学第二講座 野口 光一 —講師— 大阪大学医学部 麻酔学教室 柴田 政彦 兵庫医科大学 麻酔科学教室 村川 和重 富山医科薬科大学薬学部 薬品作用学教室 倉石 泰</p>

(2) 21世紀の薬箱

開催日	テーマ & 演題	世話人 & 講師
-----	----------	----------

第53回 平成15年 5月23日 (金) 参加者 48名	新しい治療戦略 (18) 最適な遺伝子治療のためのDDS —演題— ・アテロコラーゲンを用いた遺伝子医薬 デリバリー	大阪大学大学院薬学研究科 教授 真弓 忠範 —講師— 国立がんセンター研究所 落谷 孝広
第54回 7月9日 (水) 参加者 32名	『法科学鑑定の実務と研究』 —演題— 「法科学鑑定の実務と研究」 -血痕や体液を対象とした法科学的検査法の ノウハウおよび研究の進め方-	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫 —講師— 大阪府警察本部科学捜査研究所 法医研究室 横田 信
第55回 7月22日 (火) 参加者 67名	『摂食そして糖尿病—生理活性ペプチドから』 —演題— ・脳における摂食調節研究の最前線—とくに 新規神経ペプチドについて— ・低血糖を回避しβ細胞を守るインスリン分泌 促進薬：ナテグリニド、PACAP、そして将来	大阪大学大学院薬学研究科 教授 馬場 明道 —講師— 昭和大・医・第一解剖 教授 塩田 清二 自治医大・医・生理学 教授 矢田 俊彦
第56回 9月9日 (火) 参加者 41名	新しい治療戦略 第19回 細胞内への機能性蛋白質の送達システムと 疾病治療への展望 —演題— ・新規細胞膜透過ペプチドの設計と評価 ・細胞死抑制強化蛋白質FNKを用いた蛋白質 治療法の開発	大阪大学大学院薬学研究科 教授 真弓 忠範 —講師— 京都大学化学研究所 生体反応設計 研究部門生体活性化学 助教授 二木 史朗 日本医科大学大学院 加齢科学系専攻 細胞生物学分野 教授 太田 成男
第57回 10月27日 (月) 参加者 80名	微生物生態学におけるポストゲノム研究の展開 —演題— ・トランスクリプトミクス ・プロテオミクス ・バイオインフォマティクス	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫 —講師— 東京都立大・理 小泉 喜一、福井 学 東北大学院生命科学研究科 南沢 究 茨城大・農 笠原 康裕 岡山大学院・医歯 新垣 隆資 東京大・医科研・ヒトゲノム解析センター 片山 俊明
平成16年 第58回 2月17日 (火) 参加者 55名	心筋リモデリングのシグナル伝達 —演題— ・心筋リモデリングにおけるキナーゼの役割 ・心筋のホメオスタシスとSTATシグナル	大阪大学大学院薬学研究科長 教授 馬場 明道 —講師— 大阪市大・医・薬理 岩尾 洋 大阪大・薬・薬効解析 藤尾 慈

5. 千里ライサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネータ：国立循環器病センター名誉総長 尾前 照雄 先生

開催日	テーマ & 演題	講師
第37回 平成15年 7月5日(土) 参加者 204名	『がん治療の進歩』 —演題— ・肝がん撲滅を目指したC型肝炎の検査と治療 ・乳がん検診の進歩 —早期発見で生命と乳房を護ろう— ・肺がん治療の最前線	—講師— 静山会清川病院 院長 飯野 四郎 大阪府立成人病センター総長 小山 博記 大阪府立成人病センター呼吸器外科 部長 児玉 憲

<p>第38回 10月18日 (土) 参加者 195名</p>	<p>『血圧の管理』 —演題— ・高血圧の成因と治療 ・血圧の薬—種類と効果、副作用 ・沖縄の長寿を考える</p>	<p>—講師— 大阪大学大学院医学系研究科 加齢医学講座 教授 萩原 俊男 国立循環器病センター 高血圧腎臓内科 部長 河野 雄平 琉球大学医学部循環系総合内科学 助教授 大屋 祐輔</p>
<p>第39回 平成16年 2月28日 (土) 参加者 131名</p>	<p>『メンタルヘルス』 —演題— ・ストレスの仕組みと対処 ・神経症と森田療法 ・男性更年期の現状</p>	<p>—講師— 九州大学大学院医学研究院心身医学 教授 久保 千春 (財)メンタルヘルス岡本記念財団 理事長 岡本 常男 大阪大学大学院医学研究科保健学 石蔵 文信</p>

6. 千里ネイチャー・カレッジ

回数/開催日	テーマ	参加者	
		生徒	指導員
<p>第1回 平成15年 5月24日 (土)</p>	<p>『野鳥・昆虫・植物の観察』 箕面駅→みのお山荘→オケ原池→こもればの森 →地獄谷→箕面駅(4.5km)</p>	42名	26名
<p>第2回 平成15年 7月12日 (土)</p>	<p>『サルの観察(Ⅰ)』 箕面駅⇄滝安寺⇄箕面滝⇄百年橋⇄天上ヶ谷 (サルの餌場) (往復7.5km)</p>	39名	24名
<p>第3回 平成15年 10月11日 (土)</p>	<p>『サルの観察(Ⅱ)& シンクスタディーと修了式』 箕面駅⇄滝安寺⇄箕面滝⇄百年橋⇄天上ヶ谷 (サルの餌場) (往復7.5km) (チャーターバスにて千里ライフサイエンスセンタへ) シ ンクスタディーと修了式</p>	39名	27名

7. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	テーマ・演題	講師
<p>129回 4月18日 (金) 参加者40名</p>	『三国志の世界』	国際日本文化研究センター 教授 井波 律子
<p>130回 5月16日 (金) 参加者34名</p>	『松下幸之助の人生・経営哲学』	PHP総合研究所 取締役 谷口 全平
<p>131回 6月12日 (木) 参加者30名</p>	『夢のハイテク繊維』 ～その科学・技術の最前線～	福井工業大学客員教授、 大阪大学名誉教授 森島洋太郎
<p>132回 7月18日 (金) 参加者150名</p>	『幻の摂津京とは?』	夙川学院短期大学教授、 「関西文学」編集長 河内 厚郎
<p>133回 8月22日 (金) 参加者36名</p>	『ジェンダーの視点から現代日本社会を読む』	大阪大学大学院人間科学研究科 教授 伊藤 公雄

134回 9月24日 (水) 参加者37名	『豊かな未来を拓く燃料電池』	京都大学大学院工学研究科 教授 小久見善八
135回 10月24日 (金) 参加者42名	『イラク戦争後の中東イスラーム世界』	国立民族学博物館 教授 白杵 陽
136回 11月20日 (木) 参加者38名	『日本語を歌・唄・謡う』 ー共通詞のうたい分けー	大阪芸術大学 教授 中山 一郎
137回 12月12日 (金) 参加者28名	『美術作品を通してヒンドゥー教を考える』	大阪大学総合学術博物館 館長 肥塚 隆
138回 平成16年 1月20日 (火) 参加者37名	『本格焼酎マル秘話』	アサヒビール(株)商品企画本部 副本部長 清水 健一
139回 2月25日 (水) 参加者43名	『武士道と現代ー江戸に学ぶ再生の道』	国際日本文化研究センター 教授 笠谷 和比古
140回 3月24日 (水) 参加者37名	『人体は再生できるか?』 ー幹細胞からみた再生医学ー	大阪大学微生物病研究所 教授 仲野 徹